

国際環境法の諸原則の 一般的妥当の法理

—グローバル法としての理論化と課題—

報告者

阿部紀恵氏

(京都大学大学院法学研究科特定助教、国際法)

参考文献：

- ①鶴田順「国際環境法上の原則」の分析枠組『社会科学研究』第57巻第1号(2005年)
- ②小森光夫「解釈的構成問題としての国際法規の一般的妥当——一般国際法としての慣習法の要件論の再構成における基本問題」『北大法学論集』第56巻第3号(2005年)
- ③Neil Walker, *Intimations of Global Law* (CUP, 2015)
- ④Richard Collins, "The Slipperiness of 'Global Law'", *Oxford Journal of Legal Studies*, Vol. 37, No. 3 (2017)
- ⑤Tseming Yang and Robert V. Percival, "The Emergence of Global Environmental Law," *Ecology Law Quarterly*, Vol. 36, Issue 3 (2009)

Photo : Michael Schwarzenberger による Pixabay からの画像

日時：2021年5月29日(土) 13時～

場所：Zoomを利用したオンライン・ミーティング

法理論研メーリングリストに登録していない方で、この研究会に出席を希望する方は、
5月27日(木)17時までに下記ページよりお申し込みください。折り返し、アクセス方法をご案内します。
<https://www.juris.hokudai.ac.jp/ad/event/20210529/>

